

## 第2回

INしが

# 近畿「子どもの水辺」交流会 開催結果報告

近畿管内の各府県の小中学生等が、学校や地域で取り組んでいる身近な水辺で見つけたこと、調べたこと、日頃取り組んでいる水辺づくりの活動などを熱い想いを込めて発表しました。

近畿「子どもの水辺」交流会は、近畿府県にて小中学生等が学校や地域で取り組んでいる水辺活動や調査等を発信してもらい、「水辺」への関心・愛着の向上、子どもたちの水辺活動の継続・広がりを図るとともに、上下流・府県間など「水辺」に関わる方々の交流を深めていただき、共につくり、守り、育てる「水辺づくり」を目指しています。



主催／近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会  
(近畿府県の水辺活動団体等、近畿地方整備局、近畿各府県、河川環境管理財団)

共催／滋賀県立琵琶湖博物館

後援／北陸・東海・近畿農政局、近畿地方環境事務所、近畿各府県教育委員会、近畿各政令市、  
近畿各政令市教育委員会、琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会  
近畿「子どもの水辺」交流会は財団法人河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けています。

# 第1部 湖上環境学習

## ■大津港からピアンカ・MEGUMIに乗り、湖上での環境学習をしながら 琵琶湖博物館へ!!



### ●びわ湖にまつわるお話

当交流会実行委員会の会長である荒井紀子さんにびわ湖にまつわる色々なお話をしていただきました。

魚のレプリカや写真等を使って判りやすくお話頂きました。

また、船内では船から見える景色の紹介もしていただきました。



### ●びわ湖クイズ

当交流会実行委員会の副会長である齒黒恵子さんからびわ湖クイズを出していただきました。

びわ湖の水位、びわ湖に棲む固有種、びわ湖の水を飲んで  
いる人の数についての3つの問題を出していただきましたが、  
普段から環境について色々考えていてくれている子どもたち  
だけあって、正解率はとても高かったです。



また、MEGUMI船内でもびわ湖クイズは行われ、こちらも正  
解率は高かったです。



### ●プランクトン採取

大津港出航前とMEGUMIでは、びわ湖博物館の楠岡学芸員  
によりプランクトン採取の実演指導がありました。

ここで採れたプランクトンを第4部のプランクトン観察で使用  
しました。子どもたちも一生懸命採取に協力してくれました。

### ●びわ湖の景色

大津港を出港した船は琵琶湖大橋をくぐり、南湖から北湖へ出たところでUターンをして博物館に向かいました。

南湖の景色とは違い北湖の雄大な景色を見て、子どもたちはびわ湖の大きさを感じ取ってくれました。



# 第2回 近畿「子どもの水辺」

## 交流会概要

日時  
場所

平成21年3月1日(日) 10:30~16:30  
大津港~(ピアンカ、MEGUMI)~琵琶湖博物館  
滋賀県大津市におの浜~草津市下物町



内容

〈第1部:湖上環境学習〉 みんなで「琵琶湖」にふれあおう!  
〈第2部:グループ別交流会〉 近畿府県の小・中学生による発表(ポスターセッション)  
〈第3部:全体交流会〉 みんなで「水辺」についてお話しよう!  
〈第4部:体験・交流プログラム〉 体験ブース  
琵琶湖博物館見学/プランクトン観察/湖魚の食文化/水に関する実験

### 大阪府

- 池田市立素野小学校5年生チーム
- 石川こども自然隊
- 貝塚市立南小学校 かわっばクラブ
- 堺市立神石小学校 理科・栽培委員会
- 寝屋川市立点野小学校
- 東大阪市ガールスカウト連絡協議会  
「環境パトロールキョウワウォーターガールズ」
- 「私の水辺」大発表会  
中河内地域交流会実行委員会
- 貝塚市立西小学校 環境科学クラブ
- 駒ヶ谷小学校 生き物クラブ
- 八尾市立八尾小学校 理科科学クラブ

### 京都府

- NPO法人  
子どもと川とまちのフォーラム
- 西京極児童館 自然探検隊2004
- 京都市山科青少年活動センター  
街の探検隊「ホタルクラブ」
- NPO法人 流域調整室  
・笠置町立笠置小学校  
・亀岡市地球環境子ども村  
・京丹後市立島津小学校

### 滋賀県

- アイキッズ  
~エコアイデアキッズびわ湖~
- 伯母Q五郎  
~伯母川研究こどもエコクラブ~
- 蒲生野考現倶楽部  
~水のかげ橋エコクラブ~
- 高島市立今津中学校エコスクール
- 高島市立マキノ東小学校
- 東近江市立能登川南小学校  
エコスクール委員会
- ホタルの学校
- 政所5年愛知川探検隊
- 守山こどもエコクラブ

### 兵庫県

- 芦屋川探検隊
- 芦屋市立山手小学校
- 自然と文化の森協会  
猪名川自然林キッズサポータークラブ
- 福田川探検隊  
・上郡町立上郡中学校 科学部  
・都賀川子どもフォーラム

### 和歌山県

- ・新宮市立蓬萊小学校6年生
- ・和歌山県絵画コンクール優秀作品

### その他の展示作品

- ・大和川「絵・ポスター・作文・写真」コンクール入賞作品(国土交通省)
- ・タイのこどもたちの作品

### 三重県

- ・三重県河川・海岸愛護ポスター

### 奈良県

- 宇陀市立室生東小学校
- 橿原市立畝傍中学校 科学部
- ・奈良市立佐保川小学校

## 取材の様子

### ●読売新聞記事(H21.3.2)●



### ●びわ湖放送テレビの取材●

当日の夕方のニュースで放送されました。



## 参加者の声

### ■発表した子どもたちの感想

- ・始めて船に乗ることができました。船から見る琵琶湖は意外にもきれいなことが判ってよかったです。船からの景色は最高でした。
- ・交流会に参加して、お互いの意見を出し合って活動をみんなに知ってもらうことができて関係が深まり、とてもよかったです。

### ■発表団体代表者のご感想

- ・子どもたちの発表は、地域特性を理解し、人の連携により地域における水辺の活動の奥の深さや広がりを感じています。
- ・大変良い交流会でした。是非来年も参加したいと思います。
- ・第3部ではたくさん手が挙がって、活気があって、よかったです。子どもたちも、「いろんな考え方があって判ってよかった」と言っていました。

### ■一般来場者のご感想

- ・子どもたちの熱心な環境への取り組み姿勢に、感動しました。



## 第3回 近畿「子どもの水辺」交流会(予告)

### ■ ■ 京都府にて開催予定! ■ ■

開催時期・内容等については、近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会にて検討中!  
企画決定後、関係機関のホームページに掲載しますのでご参照ください。

## お問い合わせ先

■国土交通省近畿地方整備局河川部地域河川課  
TEL 06-6942-4407 FAX 06-6949-1867  
■福井県土木部河川課  
TEL 0776-20-0480 FAX 0776-20-0659  
■滋賀県土木交通部河港課  
TEL 077-528-4154 FAX 077-528-4904  
■京都府建設交通部河川課  
TEL 075-414-5287 FAX 075-432-6312  
■大阪府都市整備部河川整備課  
TEL 06-6943-7409 FAX 06-6949-3129

■兵庫県県土整備部土木局河川計画室  
TEL 078-362-9261 FAX 078-362-3942  
■奈良県土木部河川課  
TEL 0742-27-7507 FAX 0742-22-1399  
■和歌山県県土整備部河川・下水道局河川課  
TEL 073-441-3132 FAX 073-433-2147  
■三重県県土整備部河川・砂防室  
TEL 059-224-2682 FAX 059-224-2684  
■財団法人河川環境管理財団河川環境総合研究所  
TEL 06-6942-2310 FAX 06-6942-2118

# 第2部 グループ別交流会

※発表23団体、展示紹介4団体

## グループA コーディネーター:友延栄一(同志社大学大学院)

- ①アイキッズ〜エコアイディアキッズ〜びわ湖〜(滋賀県)  
狼川わくわく探検隊☆  
工場〜狼川〜びわ湖へとつながる水を追いかける!
- ②池田市立秦野小学校5年生チーム(大阪府)  
ぼくらの学校は、児童数949名!学校に田んぼを作っちゃった!
- ③NPO法人 子どもと川とまちのフォーラム(京都府)  
上流 下流 川って何やろう!
- ④蒲生野考現倶楽部〜水のかけ橋エコクラブ〜(滋賀県)  
日韓子ども里山紀行で「ふれ合い・見つめ合い・高め合い」
- ⑤堺市立神石小学校理科・栽培委員会(大阪府)  
親しめる石津川をめざして



## グループC コーディネーター:谷幸三(大阪産業大学人間環境学部)

- ①芦屋川探検隊(兵庫県)  
芦屋の自然で遊び・学ぶ 芦屋川探検隊!
- ②高島市立今津中学校エコスクール(滋賀県)  
私たちの「環境問題の解決にせまる活動」
- ③西京極児童館 自然探検隊2004(京都府)  
今年も報告します、えひめA1
- ④東大阪ガールスカウト連絡協議会  
「環境パトロールシヨクアウォーターガールズ」(大阪府)  
長瀬川で逢いましょう!!長瀬川グリーンクリーン作戦
- ⑤守山子どもエコクラブ(滋賀県)  
「やってみたい」「見てみたい」「調べてみたい」が私たちの原動力です。



●参加してくれた子どもたちはAからEの5つのグループに分かれ、各会場でコーディネーターの進行のもと、学校のクラス・学年の他、こどもエコクラブ、地域での活動団体、世代をこえた団体など、いろいろな仲間が、自分たちの地域の「水辺」での様々な活動内容を広く発信してくれました。

●参加してくれた子どもたちはいろいろな方法で、水辺の生き物や水質の調査結果、ピオトープづくり、水辺での遊びやカヌーの体験、ゴミ等の環境問題など深く掘り下げた研究テーマや、地域の方々とのふれあいを通じた活動、河川の源流から河口部までの調査など様々な内容の発表を行い、水辺への想いや様々なメッセージを会場のみなさんに伝えてくれました。

●会場では「活動をして一番楽しかったことは?」という質問にたいして「魚捕りと秘密の基地づくり!!大きなエノキの枝が川に飛び出している。川の上でブランコができる。川に飛び込んだりもする。(会場より:やってみたい!!の声)流しそうめんもした。」というやりとりや「ピオトープづくりで気をつけることは」という質問に対し、会場からのアドバイスや意見交換などが行われお互いの交流が深まりました。

## グループE コーディネーター:原島和雄(草津塾)

- ①芦屋市立山手小学校(兵庫県)  
とどけ!わたし達の願い「ステキな芦屋川」へ
- ②伯母Q五郎〜伯母川研究こどもエコクラブ〜(滋賀県)  
ふるさとの自然のすばらしさを見つけよう。  
ふるさとの自然のすばらしさを伝えよう。
- ③貝塚市立南小学校「かわっぱクラブ」(大阪府)  
とりもどそうくらしをつなぐ水
- 京都市山科青少年活動センター街の探検隊「ホタルクラブ」(京都府)  
「ホタルの飛び交う街づくり」 ※展示紹介
- NPO法人 流域調整室(京都府)  
水辺体験を減災に役立て、流域素材利用で持続可能な環境を ※展示紹介
- 奈良市立佐保川小学校(奈良県)  
佐保川の自然環境を考えよう ※展示紹介
- 「私の水辺」大発表会中河内地域交流会実行委員会(大阪府)  
水辺に集まれ子供たち ※展示紹介



## グループB

- コーディネーター:大脇巧己(NPO法人さんびいす)
- ①石川こども自然隊(大阪府)  
石川の豊かな自然は生命にふれ、楽しみ・学び・つながり・伝えよう
  - ②宇陀市立室生東小学校(奈良県)  
オオサンショウウオはいますか?
  - ③自然と文化の森協会・猪名川自然林の「林」タークワ(兵庫県)  
猪名川・藻川からのすてきなおくり物
  - ④高島市立マキノ東小学校(滋賀県)  
見つめようふるさとの水辺  
〜チャレンジ!高島市湖岸完全漕破!〜
  - ⑤ホテルの学校(滋賀県)  
ふるさとの川とホテルを守る子どもたち  
〜大津市千丈川から〜



## グループD

- コーディネーター:橋本夏次(近木川流域自然大学研究会)
- ①橿原市立畷傍中学校 科学部(奈良県)  
人・物・街・自然、命をつなぐ飛鳥川
  - ②寝屋川市立点野小学校(大阪府)  
いやしのピオトープから淀川へ
  - ③東近江市立能登川南小エコスクール委員会(滋賀県)  
ぼくたち わたしたちの 未来のための きれいな気持ち
  - ④福田川探検隊(兵庫県)  
水のやさしさ怖さを学ぶ探検
  - ⑤政所5年愛知川探検隊(滋賀県)  
それゆけ愛知川探検隊  
〜ふるさとの川を伝えたい〜



## 第3部 全体交流会

### ●「ほっとらいん」さんによるヨシ笛コンサート

第1部から第2部に掛けて、船上での環境学習、ポスターセッションと子どもたちのテンションが揚がったところで、一息ついてもらうために、ヨシ笛の音色を聞いてもらいました。

ヨシ笛の柔らかな音色を聞いて子どもたちも落ち着きを取り戻し、全体交流会への良い流れができました。



### ●全体交流会

ファシリテーター：嘉田由紀子（滋賀県知事）

中村大輔（伯母Q五郎～伯母川研究こどもエコクラブ～）

■各参加団体から代表の子どもたち1名ずつが最前列に並び、その周りを他の子どもたちが取り囲んで、ファシリテーターの進行のもと、「水辺」についての色々なテーマについて意見交換をしました。



■子どもたちに青と赤の紙を持ってもらいイエス・ノークイズで子どもたちの水辺に対する思いや日頃の活動への思いなどを聞いていきました。

■「水辺を守るために一番大切なことは何だと思いますか？」との問いには、「まず水辺を好きになること」「わたしたちが水辺でしている活動はとても楽しい」などの意見がありました。また「どんな楽しい活動をしているのか教えてください」との問いには、「川をきれいにする取り組み」「多くの友達と自然の中で楽しく」など活発な意見交換がありました。



■嘉田知事が大阪でのお風呂の水、滋賀でのお風呂の水、この日に琵琶湖の北湖で採った水、琵琶湖の南湖で採った水のCODのパックテストの結果を見て、「びわ湖の水はみんなが入っているお風呂の水よりもきれいなんだよ。ということをもみんなに知って欲しかった」との話をされました。



■「今日の交流会は楽しかったですか」という最後の問いにほとんどの子どもたちがイエスの返事をしてくれました。

■「たんけん・はっけん・ほっとけんがみんなの活動で大切。近畿は一つ、みんなの水辺をみんなで調べて、考えて、ほっとけんということで活動する。そんな取り組みをどんどん続けていきたいと思います。今日はびわ湖に来てくれてありがとう」という言葉で全体交流会が締めくくられました。

■最後に次回開催地である京都府の山田知事からのメッセージを荒井会長が代読して第3部が閉幕しました。

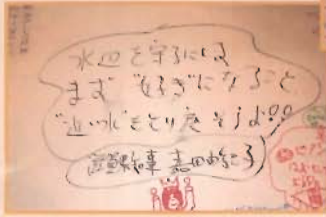


# 第4部 体験・交流プログラム

## “水辺”寄せ書き コーナー



舞台上で子どもたちが、ヨシ紙でつくった大模造紙に「水辺」に対するさまざまな思いを寄せ書きしました。



## プランクトン観察 (琵琶湖博物館学芸員)



大津港やMEGUMIで採取したプランクトンを顕微鏡で観察しました。テレビ画面でも見ることができ、多くの子どもたちが学習してくれました。



## 湖魚の食文化 (滋賀の食事文化研究会)

びわ湖では、昔から多くの魚がとれ、その魚を様々な料理にして食べてきました。それらの代表的な食事を紹介展示していただくとともに、アメノイオご飯とえびマメの試食も行いました。びわ湖のすばらしさが子どもたちに伝えられたと思います。



## 「水」の実験コーナー (株)共立理化学研究所)

「水の音を聴こう」「水の浄化実験」「水の硬度の実験」など、普段では体験できない水に関するさまざまな実験・体験をしていただきました。



## 作品展示

絵画コンクールや外国からの作品展示、そして今回参加が出来なかったけど自分たちが行っている活動の紹介のためのポスター展示を行いました。

